

## 不二製油グループ本社株式会社 2021 年度 第 1 四半期決算電話会議 主な質疑応答

- |        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| ・日時    | : 2021 年 8 月 5 日 (木) 15:30~16:30 |
| ・スピーカー | : 取締役 最高財務責任者 (CFO) 松本 智樹        |

### <全体の業績について>

#### Q.原料相場による影響と今後の見通しは

A.植物性油脂は、経済回復に伴う数量増や、価格対応により増益を確保した。しかし、全体としては、当初想定していた水準以上に原料価格は上昇している。第 2 四半期以降でも、日本で原料代が上昇する見込みであることや、米国で手当てしている原料のポジション状況からすると、利益率が低下する可能性がある。利率の高い製品の拡販や、下期以降の価格改定でいかにカバーできるかが焦点となる。

#### Q.今期予想は計画線で進行する見通しか

A.全体としては、大きな乖離はなく進行すると現時点では考えている。東南アジアは域内での補完を目指し、ブラジルは想定線での進行、ブラマーは計画を下回る見込みながら、好調な日本のチョコレート事業のプラスでカバーし、利益を確保したい。

### <業務用チョコレートについて>

#### Q.ブラマーの現状の課題の状況は

A.今第 1 四半期(2021 年 2-4 月)は、新型コロナウイルスによる影響が出現した昨年からの反動を主因に数量が増加した。しかし、米国の厳しい労働環境による人手不足や高い流動性のため、工場の効率化の遅れや、品質不良による製品の廃棄ロスの増加などが発生しており、需要の増加に対応することが難しい状況である。労働環境の厳しさについてはブラマーのみならず市場全体の課題ではあるが、福利厚生や労働条件の改善に努めることで対応していく考えである。また、注力してきた良品率の向上については、工場によって進捗に差があるが改善傾向にある。しかし特定品種の需要増への対応など、供給責任を優先することで、設備投資に遅れが生じている点は課題として認識している。

#### Q.中国のチョコレート市場の状況について

A.中国のチョコレート市場全体としては、数量の大きな伸びはないものの、市場規模は成長がみられる。これは、従来の安価なチョコレートが、欧米系、あるいは日系の外資系チョコレートメーカーの高くて美味しいチョコレートにシフトしていることによる。当社はそうした需要を取り込み、安定した高品質なチョコレートを供給することで数量増に結びつけていく。

### <その他>

#### Q.東南アジアの課題と改革の方向性について

A.東南アジアは足元では新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、厳しい状況が続いている。シェアが高い製品群は多いが、数量が伸びず、原料高の影響もあり利益が取れていない。そのため、調製品事業での工場の統合などによる、効率性向上や、顧客へのきめの細かい対応で収益を確保していく。現在、4 月に着任したフジオイルアジアのトップは次期中計に向けて構造改革案やコストダウン案の策定を進めている。

以上